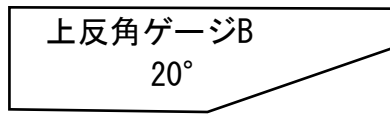
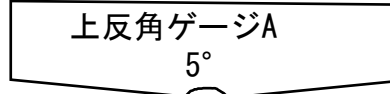
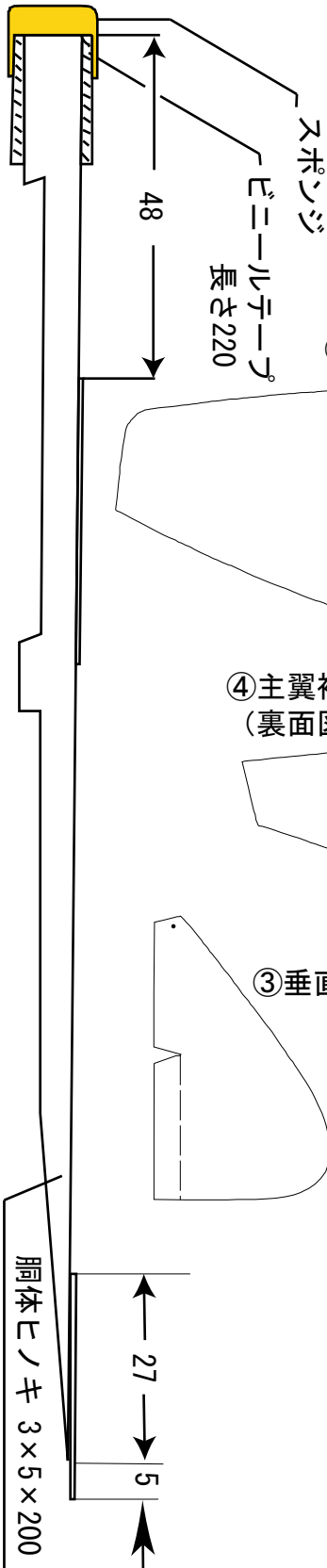


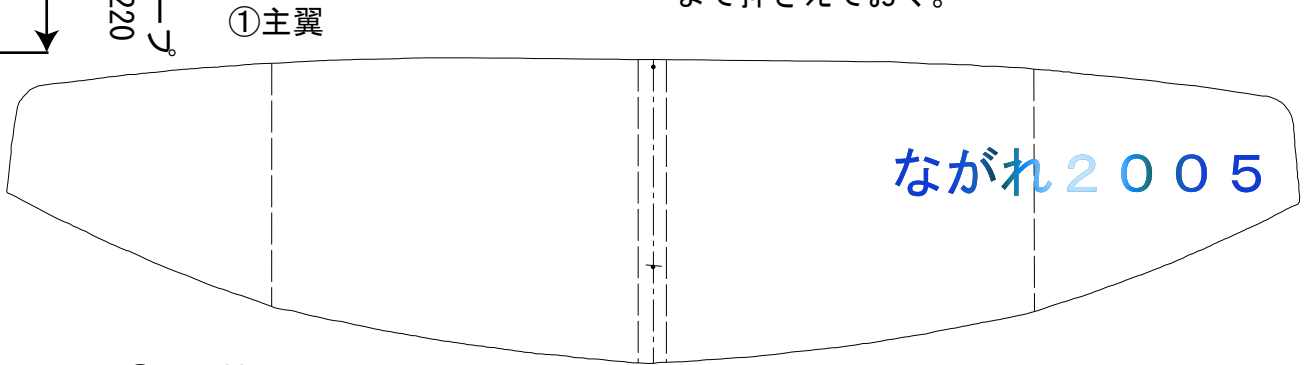
旋回上昇機（二段上反角付）



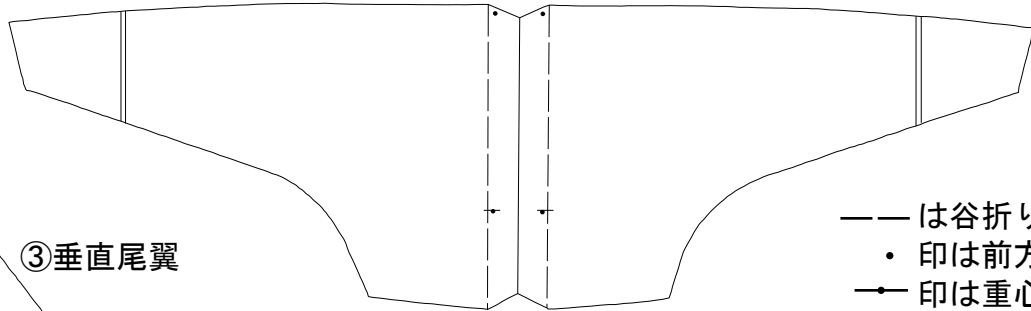
1) 胴体の先端より48ミリの位置に印をつける（図から写しても可）

胴体の先端に、端部を揃えてビニールテープをきっちりと巻き付ける。前面にスポンジを縦に貼り上下端部を折り曲げたあと、余分な部分をカットする。

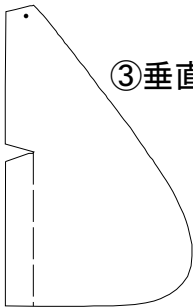
2) ①の---一部(4ヶ所)に定規をあて筋付けしたあと軽く曲げる。①の前縁を胴体につけた印の位置に、中心を合わせて接着し、固まってつくまで押さえておく。



④主翼補強 (裏面図)



③垂直尾翼

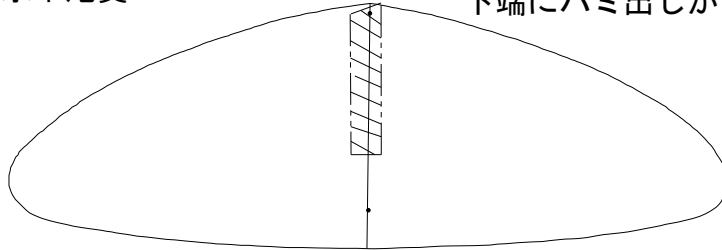


--- は谷折り
 ・ 印は前方
 → 印は重心位置 } を示す

3) ②を胴体後端部より5ミリ（ピンホールが目安）ハミ出させ、中心を合わせて接着する。

4) ③の---一部を90°谷折りし②の▨部の上に、前方部分を胴体右側面に接着し、下端にハミ出しがあればカットする。

②水平尾翼



↑ ピンホール（1ヶ所）

紙の強度方向

5) ①の中心に上反角ゲージAをあてて上反角をつける。

④を中心で分割し、これと平行する---一部に定規をあて筋付け後90°谷折りする。

左右の主翼下面に、前縁を揃えながら谷折り部分で胴体側面を左右からはさむように接着しよく押える。前縁または後縁にハミ出しがあれば、カットする。

机の端などに①の翼端をセットし、---部の内側（中心より）に定規をあて、翼端側下面にもうひとつの定規を差し込み、引き起こすように上反角ゲージBまで谷折りする。